

住民のための の市政を！！

ごうつ民報

日本共産党江津市委員会
 電話 52-2633
 FAX 52-7244
 NO. 2411
 2020年8月2日

日本共産党島根県地方議員団 大雨被害の対策求めて県へ要請

7月29日、日本共産党島根県地方議員団が島根県に対して、7月13日からの大雨による被害についての対策を求める要請を行いました。

被災者の声を

県へ届ける

大雨による江津市内での住家の被害は全壊が3棟、大規模半壊が3棟、半壊が24棟となっており、7月22日時点です。

日本共産党では大平よしのぶ前衆議院議員・む



要請書を手渡す党地方議員団と副知事。左から多田 森川 大 国・むこせ・松尾・尾村。

こせ慎一衆院島根2区予定候補・島根県議員・江津市議員が現地調査を行ってきました。29日の島根

県への要請では、調査の際に寄せられた被災された方の切実な声を取り上げ、県の具体的な対策を求めました。

県からは江津市出身の松尾紳次副知事が対応しました。なお、松江市内でも同時期に住宅地の冠水被害があったため、松江市議団も同席し、河川改修を要望しました。

生活再建と防災・減災対策を求める

今回、県へ要請したのは被災者の生活再建支援の充実と防災・減災事業の強化。主な内容は以下のとおり。

1被災者の生活再建支援
 ①繰り返される浸水被害に被災者は疲弊している。被災者生活再建支援法の対象拡大及び支

援上限額を現行の300万円から500万円へ引き上げるよう国に求めること。また、県独自の被災者生活再建支援制度の拡充を図ること。

2税金・保険料 国保・介護・後期高齢者医療・年金など・保育料などの徴収猶予や減免制度を周知・徹底すること。

2避難所の機能・環境改善

①避難所及び「ガードマップ」の再点検とともに、避難所における「密」の回避徹底や消毒液・マスク・段ボールベッドの備蓄など、感染拡大防止対策が徹底できるように、県内の備蓄状況の確認及び改善を図ること。

3商工業・農林水産業への支援

①商工業者・農林水産業者にとっては、消費税の増税・コロナ禍・豪雨災害の三重苦となっており、事業の持続さへも危ぶまれている。

被災した設備・機械の修理などにかかる経費が事業継続の負担とならないよう、実効ある支援策を講じること。
 ②農作物などの被害が十分に補償されるよう、また、農地や農業施設などの復旧にかかる農家の負担の免除・軽減を図ること。

4江の川治水事業および県管理の河川・道路の整備促進

①江の川の堤防整備率は、上流部の広島県の69%に対し下流の島根県は15%にとどまり、無堤防地区や堤防未完地区が依然として多く残されている。堤防整備や水防事業 宅地かさ上げの予算増額と事業のさらなる推進、住民負担の軽減を国に強く要求すること。

②近年、記録的豪雨が頻発し、住宅浸水や土砂災害による深刻な被害が多発している。県の防災・減災事業予算 河川整備、砂防関係 予算を増額すること。

③同一地域内の安全な場所への移転などについて、水防事業と同等の補償を講じること。

④江の川支流の堤防整備及びバックウォーター対策を早急にすすめること。また、内水排除のためのポンプを常設すること。
 ⑤八戸ダム及び浜原ダムの事前放流について、最大限の対応ができていたのか否か検証を行い、その結果を沿川住民に広く知らせること。
 ⑥国道261号が不通となった場合の代替道路の整備を行うこと 県道三次江津線の再整備を行い、桜江町川戸から川平町区間を早期に開通させること。

被害の実態に対応できる支援制度を

島根県は28日に、県議会の議決を経ない専決処分、災害対応の予算を計上しています。これを踏まえて松尾副知事は新たに生活復旧に必要な家電や家具の購入・修理費を支援する制度 全壊 床上浸水1・8 ㎡以上 上は60万円、大規模半壊 床上浸水1 ㎡以上1・8 ㎡未満は30〜50万円 半壊 床上浸水1 ㎡未満は20万円、一部破損 床

下浸水など）は8万円を上限に給付）を含め補正予算を措置した。生活や事業が続けられるよう取り組む」と要請に応じました。むこせ予定候補は新制度を評価しつつ、半壊20万円や床下浸水8万円では十分な支援とはならないこと、家電が水没した場合は水位による差はないことを指摘し、さらなる制度の充実を求めました。

森川市議は浜原ダムの事前放流の検証について、住民が納得できる説明の徹底を求めました。多田市議は続けざまの災害に対し、築堤や宅地かさ上げに比較して短期間での対策が可能な移転補償への制度づくりを求めました。

悩み・困りごと
ご相談ください

森川よしひで
090-7379-1554

多田 伸治
090-6014-2259

江津市の資産と負債の状況は？

江津市財政課では、市の財政状況を示す財務書類 貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)を公表しています。2019年3月末時点での江津市の財政は、どんな状況なのでしょうか。

純資産 648億円

財務書類のうち、貸借対照表には年度ごとの江津市の保有する資産・負債・純資産の残高が示されています。

純資産は、江津市が保有する道路・学校などの固定資産は、江津市が保有する道路・学校などの固定資産当引当金などの固定負債(360億円)や1年内償還予定地方債・未払い金などの流動負債(31億円)から

金 15億8000万円)・基金 27億9200万円)などの財産で、合計で1041億円となっています。

行政コスト 237億円

行政コスト計算書は、1年間の福祉サービスやごみの収集などに係る経費や、資産形成につながらない人

らなり、合計393億円となっています。純資産は、この資産と負債の差し引きで、合計648億円となります。江津の人口2万3445人で割ると、1人あたりの資産は444万円、負債は167万円で純資産は276万円となります。

純資産減少は2億円

純資産変動計算書は、上記の純資産 過去の世代や国・県が負担した将来返済しなくてもよい財産)が1

件費 29億2500万円)・物件費 75億4000万円)・補助金など 118億9500万円)・社会保障給付費 18億7000万円)・使用料と手数料 10億5100万円)・その他 7億2300万円)からなり、合計は237億400万円となっています。

出しておけば良い

この不足をまかなうためには、これまで貯めた基金などを取り崩すか、将来世代へ負担を先送り(借金)することになります。

今取り上げた財務書類は、市広報やホームページで公表されていますが、市民からは「見てもよくわからない」との声がある一方で「情報量が足りない」との意見もあります。市の財政状況は市民の生活にも直接影響するため、市民も把握しておくべきですが、理解できないのでは、情報を出す意味がありません。出して「おけば良い」ではなく、正しく市民が理解できるように、工夫・努力が必要だと思います。

資金減少は1億2400万円

資金収支計算書は、1年間の現金などの増減について、業務活動収支・投資活動収支・財務活動収支という性質の異なる3つの数値で表されており、期首の資金残高16億5400万円がどの様に推移したかが示されます。

行政サービスを提供するための業務活動収支は、21億9600万円のプラスとなっています。公共施設整備費の状況を示す投資活動

子どもたちに少人数数学級を

新型コロナウイルスから子どもたちの命を守るため、そして休校などで辛い思いをした子どもたちに20人学級をプレゼントしようと、少人数学級を進めよう」との新聞記事が目につくようになりました。

7月20日には、ゆきとどいた教育をすすめる島根の会が、県教育委員会へ少人数学級推進を国に求めること・県が来年度に予定している少人数学級編成縮小を凍結すること・学習進度に違いが出ている子どもた

らに配慮し、県学力調査を中止すること」と要望しました。少人数学級実現は子どもたちの健やかな発達を願うすべての人にとって共通の思いとなっています。

その学校で1年生7人を担任。ひらがなの書き方の授業では、「筆で書ける字から習います。く」を習ったEさんのノートに「くくくくくくくく」とありました。まだ習って

間に何ページも花丸を付けることができ、間違いは丁寧に指導できました。教育の目標である「すべての子どもに基礎学力をつけること」と「大格の完成を目指すこと」は少人数学級という教育環境でこそ実現する

と実感できた体験でした。山崎 漳子

7月2日、全国知事会が全国市長会・全国町村長会との連名で「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」を発表しました。子どもたちの学びを保障するには、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保がぜひとも必要」と強調しています。

7月20日には、ゆきとどいた教育をすすめる島根の会が、県教育委員会へ少人数学級推進を国に求めること・県が来年度に予定している少人数学級編成縮小を凍結すること・学習進度に違いが出ている子どもた

らに配慮し、県学力調査を中止すること」と要望しました。少人数学級実現は子どもたちの健やかな発達を願うすべての人にとって共通の思いとなっています。

その学校で1年生7人を担任。ひらがなの書き方の授業では、「筆で書ける字から習います。く」を習ったEさんのノートに「くくくくくくくく」とありました。まだ習って

間に何ページも花丸を付けることができ、間違いは丁寧に指導できました。教育の目標である「すべての子どもに基礎学力をつけること」と「大格の完成を目指すこと」は少人数学級という教育環境でこそ実現する

と実感できた体験でした。山崎 漳子

お悔やみ申しあげます
敬称略

23日	佐々木信代	99)	有福温泉町
23日	砂田千恵子	91)	渡津町
21日	佐々木明喜	55)	桜江町市山